

ハニカム構造・断熱ブラインド 設置マニュアル

ハニカム構造・断熱ブラインドを設置するに当たり、取付方法についてご案内させていただきます。
しっかりとブラインドを設置いただくためのマニュアルとなりますので、必ずお読み下さい。

ご用意いただくもの

「電動ドリル」で設置する場合



電動ドリル
下穴用ドリル
取付用プラスビット
(ビットは長いものを用意してください。
短いとブラケットにあたってしまいます。)
鉛筆
メジャー
(ブラケットの位置を決めるのに使用しますが、
無くても設置可能です。)

「マイナスドライバー」で設置する場合



トンカチ(くぎ抜きが付いているもの)
マイナスドライバー
鉛筆
くぎ:大、中、小 各1本
(封筒の中に同封いたします。)
メジャー
(ブラケットの位置を決めるのに使用しますが、
無くても設置可能です。)

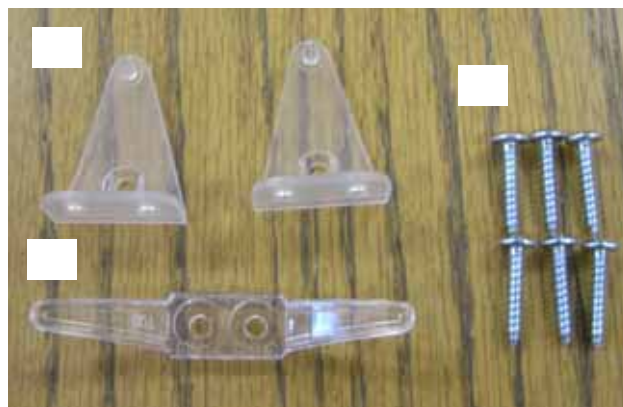
同梱物(ブラインド本体の梱包に入っているもの)

必要なもの

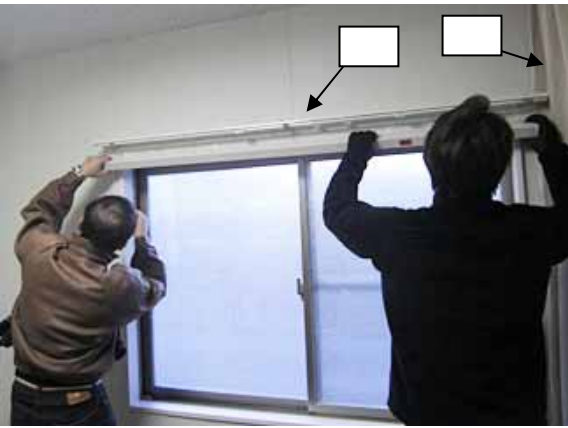

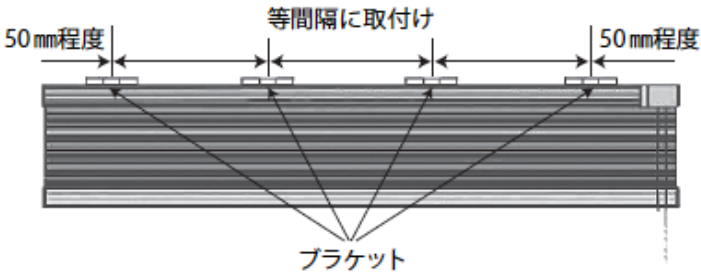
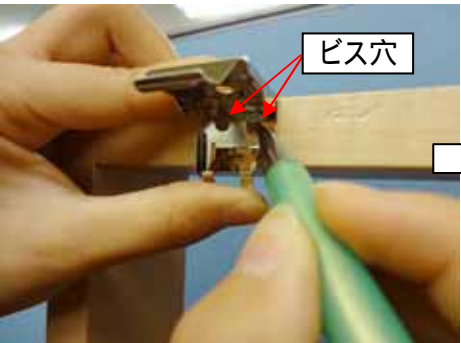



ブラケット(4個)
ビス(長いもの8本)

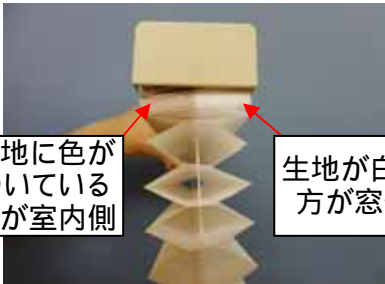
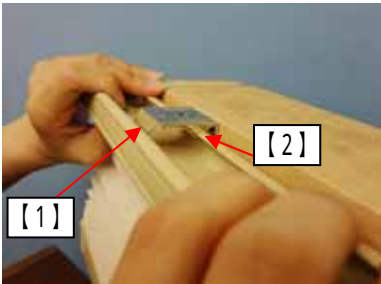
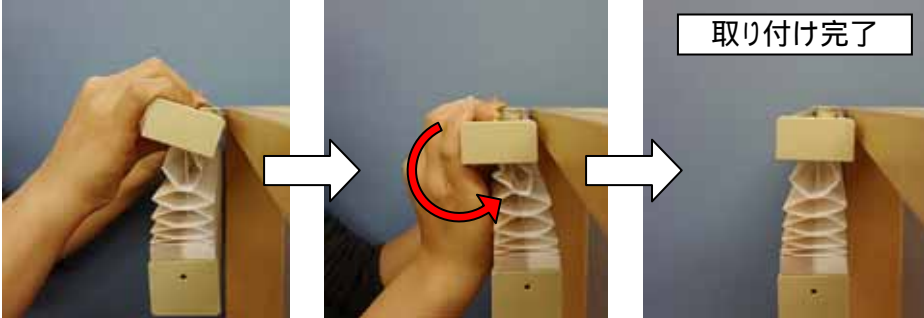

必要ないもの




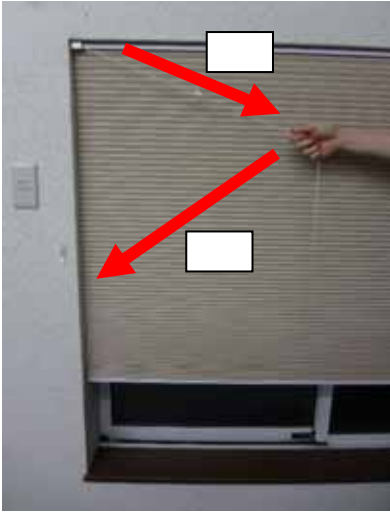
下部支持ブラケット
紐止め具
ビス(短いもの6本)

手順	『電動ドリル』で設置する場合	『マイナスドライバー』で設置する場合
1	ブラインドの取り付け位置を決める。(電動ドリル、マイナスドライバー 共通)  <p>ブラインドに物が干渉しないか確認をする。 干渉する場合は、ブラインドの左右の位置を調整、もしくは、物をどかして設置できるようにする。</p> <p>カーテンレールが干渉しないか確認をする。 干渉する場合は下記のいずれかの方法にて対処する。 【1】カーテンレール全体を上へずらして設置しなおす。 【2】カーテンレールを取り外す。 (注意:カーテンは使用できなくなります) 【3】カーテンレールはそのまま、カーテンのみを外す。 (注意:カーテンが使用できなくなります)</p>	
2	ブラケットの取り付け位置を決める。(電動ドリル、マイナスドライバー 共通)  <p>窓枠が2cm程度ある場合は、窓枠にブラケットを取り付ける。 窓枠がない場合は、下地がある壁にブラケットを取り付ける。</p>  <p>50mm程度 等間隔に取付け 50mm程度</p> <p>ブラケット</p> <p>ブラケットは全部で4箇所。 端の2つに関しては、端から50mm程度の位置、真ん中の2つに関しては、均等になるようにする。 位置が決定したら、鉛筆等でブラケットの位置に印をつける。</p>	
3	ブラケットのビス穴を鉛筆等でマークする。(電動ドリル、マイナスドライバー 共通)  <p>ビス穴</p>  <p>ビス穴位置</p> <p>ブラケットのビス穴は1箇所につき2つ。 両方とも鉛筆等で印をつける。</p>	

手順	『電動ドリル』で設置する場合	『マイナスドライバー』で設置する場合
4	<p>下穴をあける。</p> <p>ブラインドをとりつけるビスの下穴をあける。電動ドリルに下穴用のドリルを装着し、穴をあける。下穴の目安長さは3cm程度。(ビス長さ程度)</p>   <p>ビス穴8つ全て下穴をあける。</p>  <p>下穴完成</p>	<p>下穴をあける。</p> <p>ブラインドをとりつけるビスの下穴をあける。封筒に同梱されている釘を利用する。</p>  <p>釘は封筒に同梱</p> <ul style="list-style-type: none"> [1] 一番細く・短い釘 [2] 中くらいの太さの釘 釘のところに赤い印があります [3] 一番太く・長い釘 釘のところに青い印があります <p>ブラインド1本に対して、ビス穴が8つあります)封筒に同梱している釘を[1] [2] [3]の順番で窓枠に釘を打つ。 (注意: 順番に打つと窓枠の割れ防止になります)</p>  <p>釘を打つ・・・打ち込む目安は1~3cm程度。</p>   <p>下穴完成</p> <p>釘を抜く・・・下穴は計8箇所あるので、釘を曲げない様注意下さい。</p>  <p>釘抜き 金づち</p> <p>[注意] 下穴を釘であけるためには釘抜きが可能な金づちが必要です。</p>
5	<p>ブラケットを取り付ける。</p>  <p>ビス穴を2箇所をビスにてブラケットを固定する。ビスの取り付け順番は、[1] [2]の順で取り付ける。</p> <p>本締めをする前に、ブラケットの高さを調整する。 注意: ブラケットの高さが揃っていないとブラインド本体の設置が難しくなります。</p>  	<p>ブラケットを取り付ける。</p>  <p>ビス穴を2箇所をビスにてブラケットを固定する。ビスの取り付け順番は、[1] [2]の順で取り付ける。</p> <p>本締めをする前に、ブラケットの高さを調整する。 注意: ブラケットの高さが揃っていないとブラインド本体の設置が難しくなります。</p>  

手順	『電動ドリル』で設置する場合	『マイナスドライバー』で設置する場合
6	ブラインド本体を取り付ける。(電動ドリル、マイナスドライバー共通)	
 <p>生地の色がついている方が室内側</p> <p>生地が白い方が窓側</p>		 <p>ブラインドをブラケットの手前のツメ【1】と、奥側の凹凸【2】に引掛ける。</p> <p>下の写真のように、奥側へしっかりとはめ込む。</p>
 <p>取り付け完了</p>		 <p>はめ込まれた状態</p>

操作方法

	<p>ブラインドを開ける</p> <p>コードを下に引くと、ブラインドが上に上がります。ストップしたい場所でコードを離すとブラインドがとまります。</p>		<p>ブラインドを閉める</p> <p>コードを斜め内側に引くと、コードロックが解除されブラインドが下がります。ストップしたい場所でコードを下に戻すとブラインドがとまります。</p>
<p>写真のブラインドは内付けです。実際は外付けとなり、コードは右側にあります。</p>			

お手入れ方法

普段のお手入れは、はたきや乾いた布等で埃を掃って下さい。
 ひどく汚れている場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄めた水溶液に浸したスポンジで軽くたたくようにして下さい。
 (普段のお手入れでは、落とすきれない場合のみに適用下さい。)

【注意事項】

・丸洗いはブラインドが破損する原因となりますのでおやめ下さい。